

芒種

2025 年 5 月 12 日～6 月 20 日

野中健司



5月12日16時ごろ 八十八夜も過ぎ、茶畑が最も美しい季節である。

茶畑は日本の中で最も豪華な風景の一つであるとクロード・レヴィ＝ストロースは言った。



5月12日 代掻きを終えた「ホツツケ田」

代掻きを終えた水田は、日本の里山を水の大地に変えるのである



5月12日 「もぐちよの入江」に面した「立崎野」の水際にこぼれる様に咲く野バラ

豊かな生態系を育む水際でもある



5 月 12 日 古河公方館址の空堀



5月16日 大賀ハス田ではハスの葉が田を覆い尽くしていた。



5月16日 ラントウ池の橋の欄干では水鳥が羽をや休めていた



5月18日 新茶まつりの会場 今日は運動会とかち合って、人出が少ないとのこと。

それでも多くの人を楽しんでいた



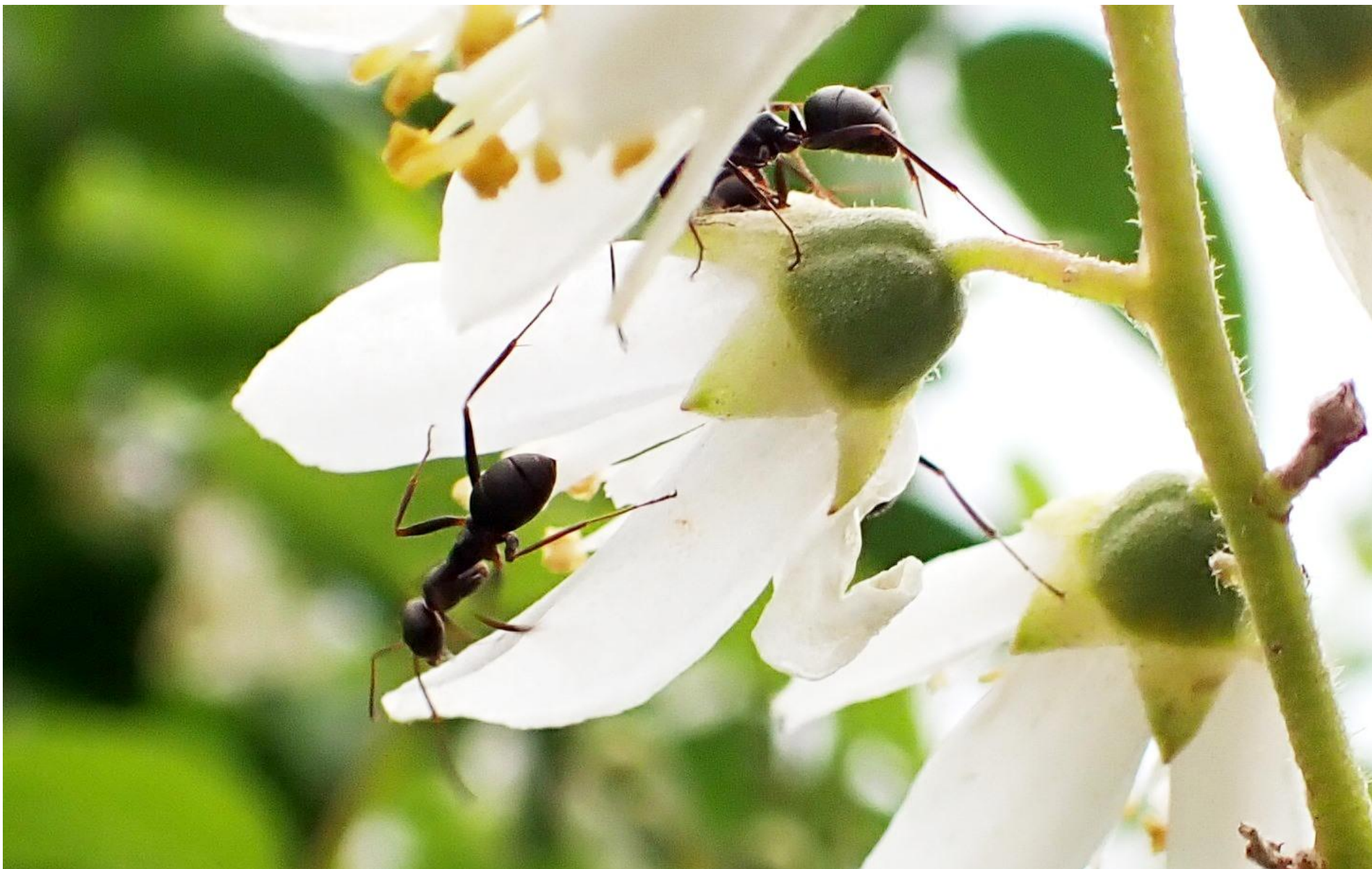
5月24日 ジェラテリア～孔雀小屋方面を眺める



5月24日 公方様の森 林床はすっかりアズマネササで覆われていた。



5月24日 アザミの花があちこちに咲いていた。



5月24日 ツツジ山に咲く^う卵の花（ウツギの花）には黒蟻が数多く見られた。花の蜜を集めに来たのか？



5月24日 「かわうそ島」の山桜になったサクラランボ 果物屋に並ぶ赤い大きなサクラランボとは似ても似つかないが
数個摘んで食べた。指先が紫色に染まった。黒い小さいサクラランボは、子供の頃に食べた懐かしい記憶の味がした



6月1日 管理棟のデッキでは、アマティアであろうか

「ON THE ROCK」と称して、野外コンサートが開かれ、来園者を楽しませていた



6月1日 中山台ではバーベキューを楽しむグループがいた



6月1日 まくらが浜付近の芝生には一面にシロツメクサが咲いていた



6月2日 犬と猫を散歩させるご婦人と遭遇

犬はリードにつながれているが、猫は繋がれることもなく一所に散歩していた

「猫は繋がなくても大丈夫ですか」と尋ねると「いつもですよ」



6月2日 立崎野付近から御所沼を眺める。ヒメジオンに蝶が舞っていた。



6月2日 「相の谷橋」から眺める

沼に突き出た「御所の森」は、不可思議な気を発しているように思えた



6月8日 水辺のビオトーププロジェクトに参加する。

「柳の井」の近くの水辺の植物を採って、湿性植物園に移植する。採取した場所に近い環境に植える様にとの説明あり。



6月15日 未整備の湿性植物園 草刈のみの管理であるが、何とも美しい。

「湿性植物の草むら」として子供たちが自由に入って虫取りなど楽しんでもらえたらいいのではと思った。



6月15日 大賀ハス田 もうすぐハスの花の蕾が葉の下にいくつか見えた



ラントウ池 白い花の水連が咲いていた。



カキツバタ田の園路沿に額アジサイが見ごろであった。



6月15日 くもり 御所沼広場(仮称) 小雨降る梅雨らしいてんきであった。

此処のベンチでは、誰かが御所沼の水面をただじっと眺めている姿をよく見掛けるのである。

「瞑想のベンチ」とも名付けようか



6月15日 まくらが浜

何の変哲もない静かな風景だが、好きな景色の一つである



6月20日16時40分 明日は夏至、

もうすぐ午後5時だと言うのにまだ陽は高い。その光が波紋を金色に輝かせていた。



6月20日 17時20分 夕日に照らされた大賀ハスの蕾

もうすぐ咲きだすか？

蕾はまだ小さい